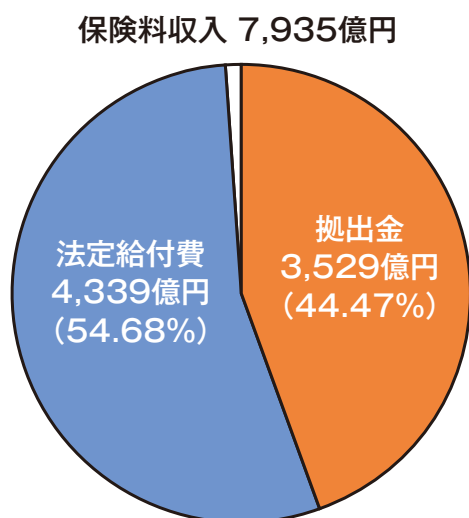


保険料収入の半分近くが拠出金



○健保組合の財政悪化が続く原因は、高齢者医療制度への各種拠出金の増加にあります。2014年度の保険料収入額は7,935億円、拠出金総額は3,529億円で、保険料収入に対する拠出金の割合は44.47%となっています。なかには、その割合が80%を超える組合さえあります。

○拠出金に自組合の医療費負担分（法定給付費）を加えた、いわゆる義務的経費の保険料収入に対する割合は99%を超えています。健保組合では、このほかにも、特定健診実施などのための保健事業費や事務費といった当然経費も必要であり、これらを含めればとても保険料収入だけで賄いきれる状態ではありません。

真っ先に取り組むべきこと

高齢者医療をはじめとした医療制度改革と医療費適正化が急務です

国全体で

- 前期高齢者医療に対して速やかに公費を拡大すべきです。
- 安易な全面総報酬割導入による財源の転嫁には反対します。
- 国民医療費の効率的・効果的活用に向けて具体策を早急に講じるべきです。

大阪で

- 高齢者医療制度改革を実施しなければ、大阪の健保組合はさらに減少し、国民負担が増加します。
- 高い水準にある外来医療を適正化すべきです。
- 全国一高い柔道整復療養費など、療養費を適正化すべきです。